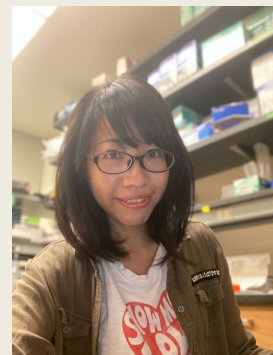


先天性水頭症モデルにおける 細胞間接着の異常

講師：高岸麻紀 講師

名古屋市立大学 大学院薬学研究科
病態生化学分野



日時：2026年2月12日（木）17:00～

場所：名古屋市立大学桜山キャンパス
医学部研究棟11階 講義室B

脈絡叢においては、血液側から上皮細胞を介して水や電解質が輸送されることで脳脊髄液が産生され、脳室腔へ分泌される。脳脊髄液は脳内を循環して脳の恒常性を維持しているが、その産生と吸収、または循環のバランスが崩れると水頭症を生じる。

非症候性の先天性水頭症患者の複数の家系においてDAPLE遺伝子変異が報告されており、その全ての遺伝子変異においてDAPLEのPDZドメイン結合モチーフを欠損していた。一方培養上皮細胞では、DAPLEはPDZドメインを持つ細胞間接着因子に結合し、細胞間接着の形成に機能する。

今回我々は、水頭症患者と同様にPDZドメイン結合モチーフを欠損したDaple遺伝子変異マウスを作成し、脈絡叢上皮細胞の細胞間接着を解析した。細胞間接着の異常が先天性水頭症の発症に関与する可能性を議論したい。

世話人：山川和弘（医学研究科・神経発達症遺伝学分野）

TEL: 052-851-5612, E-mail: yamakawa@med.nagoya-cu.ac.jp